

大便器自動洗浄システム オートフラッシュ C セパレート形

■操作部

センサースイッチ／タッチスイッチ
OKC-8S 型／ OKC-8B 型

■自動フラッシュバルブ

露出形／埋込形
OKC-AT7 型／ OKC-AT78 型
OKC-AT6 型／ OKC-AT68 型
OKC-A6 型／ OKC-A68 型
OKC-A5 型／ OKC-A58 型

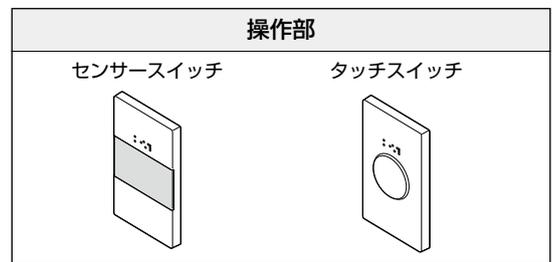
取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

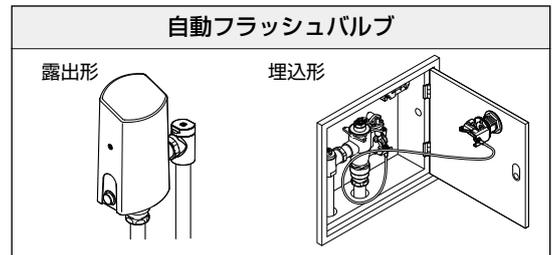
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

- 保証書に、お買い求めの取扱店名・取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。
- 便座に関する内容は、便座に同梱の説明書に記載してありますので、この説明書とあわせてよくお読みください。



+



もくじ

安全上のご注意.....	1	ご使用上の注意.....	8
各部のなまえ	4	設定のしかた	9
ご使用になる前に確認してください.....	6	・切替スイッチの設定.....	12
・止水栓の確認	6	・水量調節スピンドルの設定	15
・電源の確認	6	・洗浄水量の設定	16
・コネクタの確認	6	お手入れ方法	19
ご使用方法	7	・お手入れ	19
・センサースイッチによる洗浄	7	・定期点検のおすすめ.....	20
・タッチスイッチによる洗浄	7	修理を依頼される前に	25
・手動洗浄ボタンによる洗浄	7	アフターサービスについて	26
・その他の機能	7	仕様.....	28
		保証書	裏表紙



安全上のご注意 (必ずお守りください。)

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明



「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害*のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告

 水場使用禁止	<p>バスルームなど湿気 の多い場所には設置 しないでください。 ※感電・火災の原因 になります。</p>	<p>上水仕様は上水道以外に接続しないで ください。 ※機械内部の腐食により発火・ショート・感電・ 故障および皮膚の炎症の原因になります。 ※上水以外で使用する場合は、中水仕 様をお使いください。 詳細は「仕様」(28 ページ) をご参 照ください。</p> <p>電源線を傷つけたり、破損したり加工し たり、無理に曲げたり、引っばったり、 ねじったり、束ねたり、重いものを載せ たり、挟み込んだりしないでください。 ※電源線が破損し、感電・火災の原因 になります。</p> <p>交流 100V 以外では使用しないでください。 タコ足配線など定格をこえる使い方をし ないでください。 ※火災の原因になります。</p> <p>電源線の加工(切断・継ぎ足し)は行わ ないでください。 ※感電・火災の原因になります。</p> <p>トイレ用洗剤、住宅用洗 剤、漂白剤、ベンジン、 シンナー、クレンザー、 クレゾールは使用しな い で ください。 ※感電・火災の原因になります。</p>
 水かけ禁止	<p>本体部や操作部、配線 に水や洗剤をかけない でください。 ※感電・火災や故障、 外観劣化の原因にな ります。</p>	
 分解禁止	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解し たり修理・改造は行わないでください。 ※感電・火災・ケガの原因になります。</p>	
 接触禁止	<p>通電中は絶対にコネクタにさわらない でください。 雷が発生しているときは、電源線に触 れないでください。 ※感電の原因になります。</p>	
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手でコネクタにさわらないでく ださい。 ※感電の原因になります。</p>	
 禁止		

安全上のご注意



警告



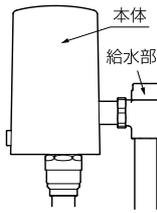
指示実行

本体・配線が故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちに漏電遮断器を切り、修理を依頼してください。
※感電・火災の原因になります。

本体および給水部から漏水した場合、漏電遮断器を切り、止水栓を閉めてください。

※感電・火災の原因になります。

※漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



お手入れ、点検の際は、必ず漏電遮断器を切ってください。

※感電の原因になります。

バキュームブレーカーは安全を確保するために定期的に交換してください。
(27 ページ参照)

※バキュームブレーカーが正常に機能しないと状況によっては、バルブから吐水した水が逆流する恐れがあります。



火気禁止

本体にタバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。

※火災の原因になります。

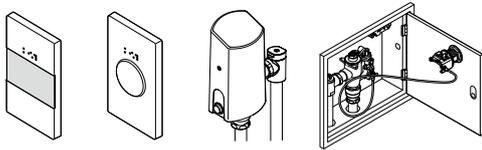
安全上のご注意

⚠ 注意

本体の上に乗らないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。



本商品に強い力や衝撃を与えないでください。
※故障や漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



凍結の恐れがある場所では、使用しないでください。
※凍結破損により漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



禁止

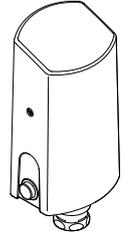
ガタツキなどの異常はそのまま放置しないでください。
※ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やめっき部品の表面が割れてケガをする恐れがあります。万一、部品の破損やめっきの割れを発見した場合は、ただちに修理を依頼してください。

重量物や先のとがった物を置いたり、落としたりしないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。またキズつきの原因になります。

衛生陶器にヒビが入ったり、割れたりしたら、破損部は絶対触らず、使用しないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

自動フラッシュバルブ本体は重いため取扱いには十分注意してください。

※落とすと、自動フラッシュバルブ本体や衛生陶器が破損して漏水し、室内浸水して家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。また、ケガをする恐れがあります。



ピストンおよびダイヤフラムの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。

※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。
※この作業の前に必ず漏電遮断器が切ってあることを確認してください。



指示実行

定期的（年2回以上）に配管の周りを見て漏水がないか確認してください。
※部品の劣化・摩耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

長時間使用しないときは、止水栓を閉めて漏電遮断器を切ってください。
※誤作動や故障などによる、予期しない事故の原因になります。

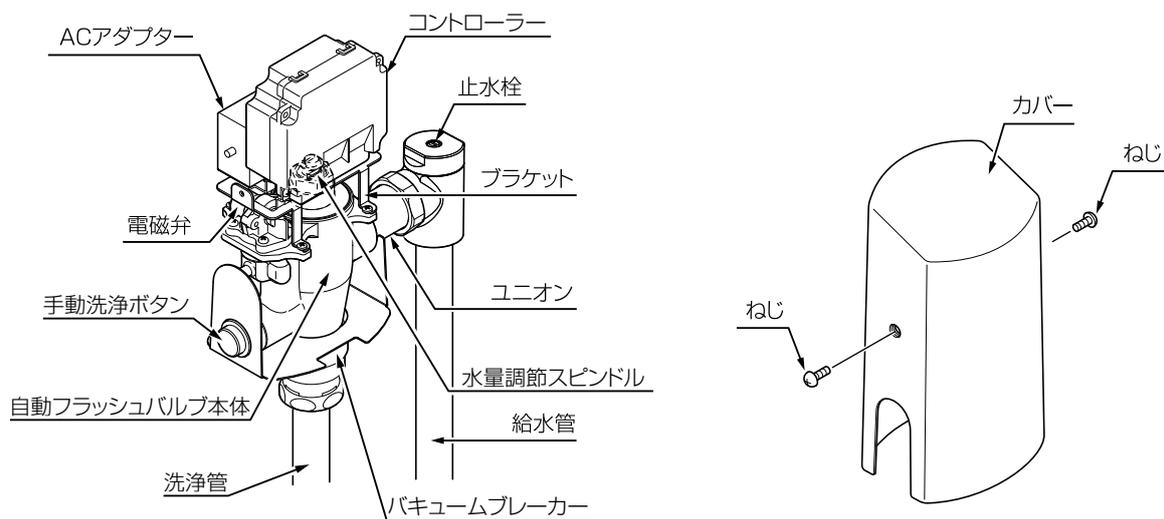
新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

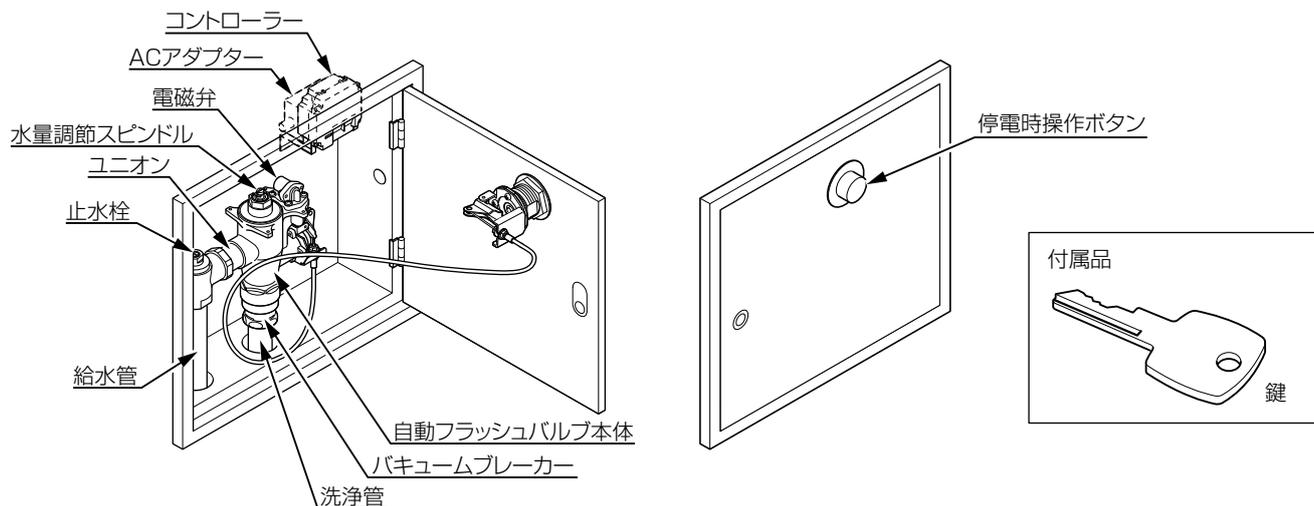
各部のなまえ

自動フラッシュバルブ

■ 露出形



■ 埋込形

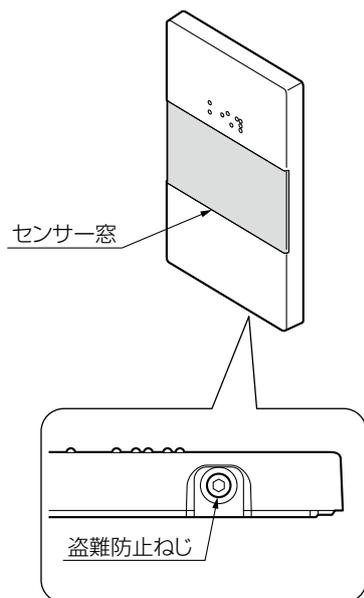


各部のなまえ

操作部

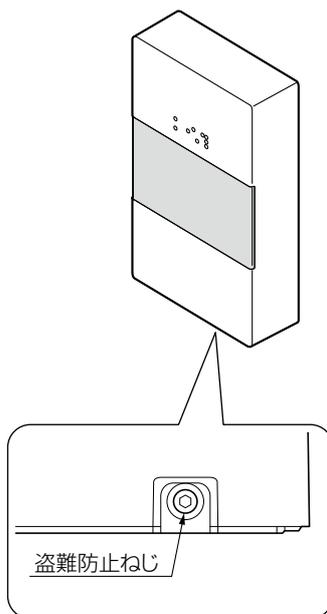
■ センサースイッチ

OKC-8SY (有線タイプ)



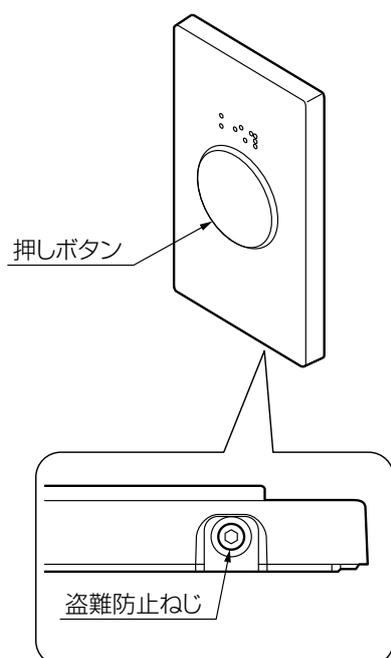
OKC-8SM (無線タイプ)

※埋込形とは組合せ不可です。



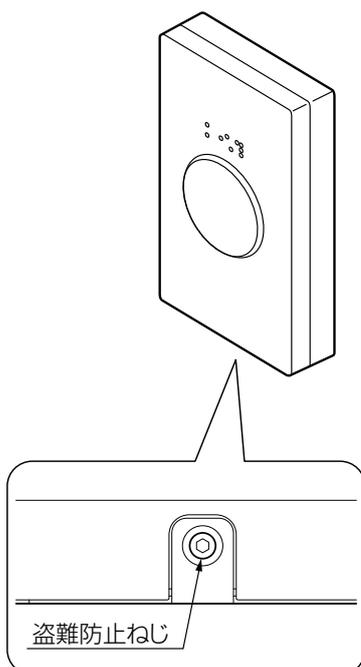
■ タッチスイッチ

OKC-8BY (有線タイプ)



OKC-8BML (無線タイプ)

※埋込形とは組合せ不可です。



ご使用になる前に確認してください

◆ 止水栓の確認

▶ 止水栓は開いていますか。

閉まっている場合は、マイナスドライバーで止水栓を開いてください。

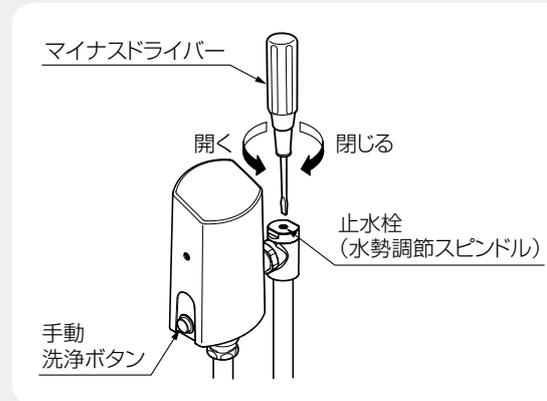
使用場所の水圧・配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スピンドルを回転させて適正な設定をしてください。

右に回転.....水勢が弱くなる。

左に回転.....水勢が強くなる。

※埋込形の止水栓は、ボックス内にあります。

(図は露出形です。)



◆ 電源の確認

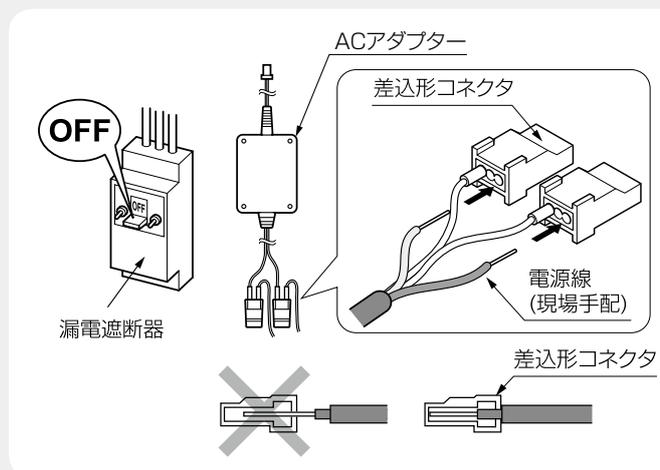
▶ 電源は入っていますか。

▶ 差込形コネクタは接続されていますか。

漏電遮断器が切れていることを必ず確認した後、ACアダプターの差込形コネクタに電源線を根元まで確実に差し込んでください。

注意

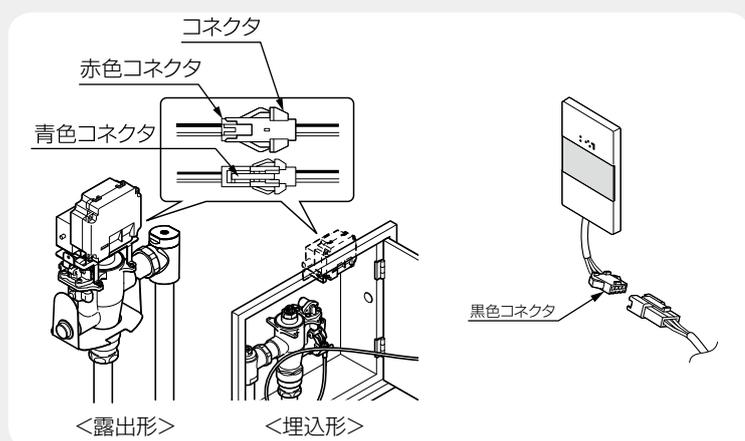
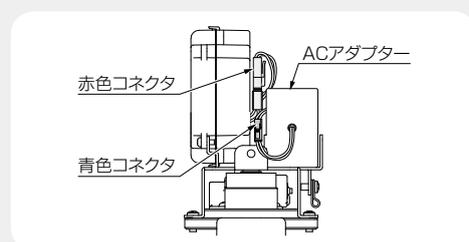
交流 100V 以外では使用しないでください。



◆ コネクタの確認

▶ 各コネクタは接続されていますか。

コネクタがきちんと接続されているかご確認ください。



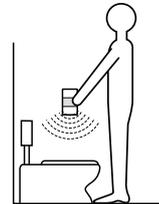
ご使用方法

ここでは、センサーによる洗浄・手動洗浄ボタンによる洗浄・その他の機能について説明しています。

◆ センサースイッチによる洗浄

手かざしセンサーによる洗浄

センサー窓から 60mm 以内に 2 秒以上手をかざすと、洗浄水が流れます。

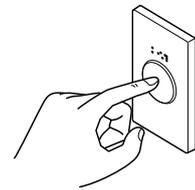


手をかざして洗浄

◆ タッチスイッチによる洗浄

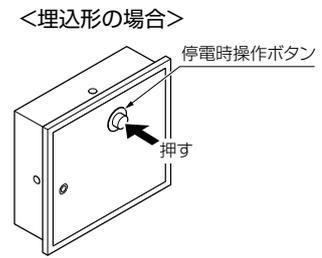
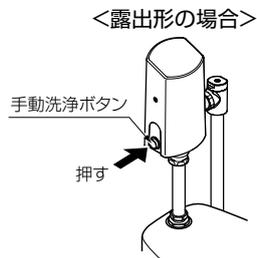
【流す】 ボタンを押します。

ご使用後に【流す】 ボタンを押してください。
洗浄水が流れます。



◆ 手動洗浄ボタンによる洗浄

停電のときなどに使用します。流れるまでボタンを押し続けてください。



◆ その他の機能

■ 設備保護洗浄機能

一定時間、洗浄が行われない場合、便器の配管を保護、封水切れを起こすのを防ぐため、自動的に大洗浄が行われる機能です。8 時間毎、24 時間毎、設備保護洗浄なしを選べます。ただし設備保護洗浄を行わず、長期間大便器を使用しないと、大便器が封水切れを起こす恐れがあります。

6L 以下の洗浄水量の場合、配管を保護するため 8 時間毎をお勧めします。(14 ページ)

■ 二重洗浄防止機能

一度洗浄を行ったら、10 秒間経過しないと次の洗浄を行いません。

■ 初期洗浄機能

電源投入時に、大洗浄を 1 回流す機能です。出荷時は「しない」に設定しています。(14 ページ)

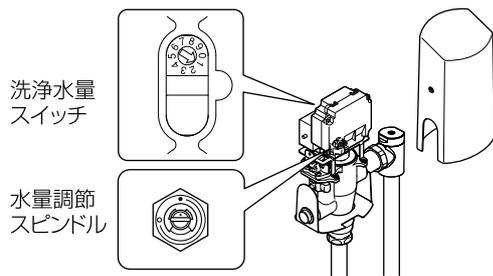
■ 自動洗浄（人体感知センサーと組合わせた時のみ）

人体感知センサーが 6 秒以上感知し、使用者が洗浄を行わないまま立ち去った場合、流し忘れ防止として、10 秒後に自動洗浄します。(13 ページ)

ご使用上の注意

洗浄水量の設定を行うときは、必ず「洗浄水量スイッチ」と「水量調節スピンドル」の両方を設定してください。(12、15 ページ)

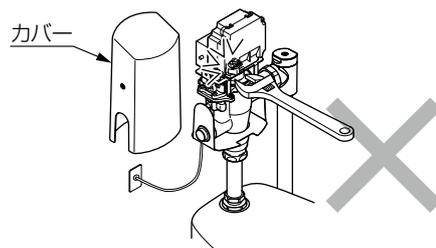
洗浄水量設定は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。



カバーを外してメンテナンスを行うときは、モンキーレンチなどで配線をキズつけないようにしてください。

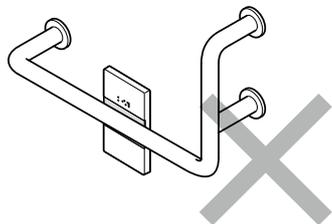
故障の原因になります。

また、カバーを取り付けるときは、配線をかみこんでキズつけないようにしてください。



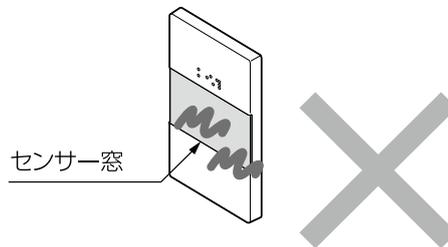
センサーの感知領域内に障害物がないようにしてください。(7 ページ)

障害物を感知したままの状態では正しく作動しません。



センサー窓を汚さないようにご注意ください。

センサーの感知不良の原因になります。



中水仕様の場合でも、水あかやスライムによる止水不良や、ピストン部・ダイヤフラム部の小穴の詰まりに対しては、効果はありません。あらかじめ、器具一次側にストレーナーの設置と、定期的なメンテナンスをご計画ください。

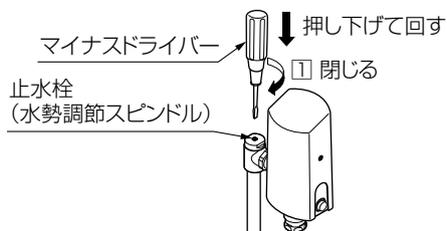
設定のしかた

ここでは、切替スイッチ・水量調節スピンドル・洗浄水量の設定のしかたについて説明しています。

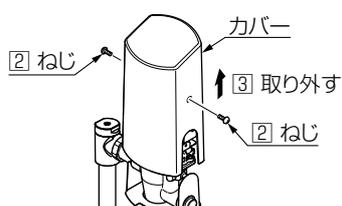
設定する前に必ず漏電遮断器が切っていることを確認してください。

切替スイッチ・水量調節スピンドル・洗浄水量の設定手順は以下になります。

■カバー、ブラケット、コントローラーの取外し 〈露出形の場合〉

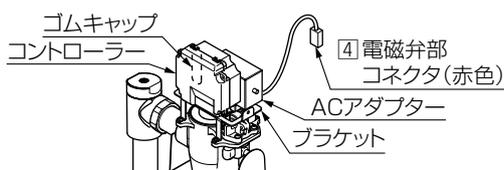


1 マイナスドライバーで、止水栓の水勢調節スピンドルを閉めます。押して回すと閉まります。

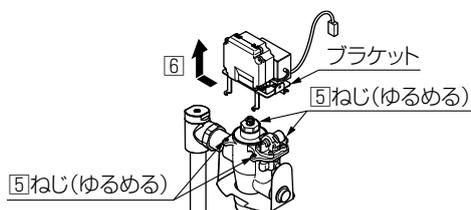


2 カバーのねじ (2 か所) を外します。ねじをなくさないよう、ご注意ください。

3 カバーを取り外します。



4 電磁弁部コネクタ (赤色) を外します。



5 ブラケットのねじ (4 か所) をゆるめます。電磁弁のねじは外さないでください。

6 ブラケットを横にスライドさせて、取り外します。

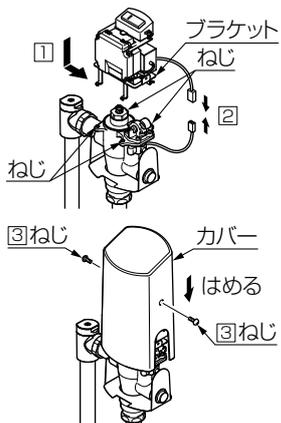
■各種設定

項目により設定方法が異なります。以下のページをご参照ください。

- ・切替スイッチの設定⇒ 12 ページへ
- ・水量調節スピンドルの設定⇒ 15 ページへ
- ・洗浄水量の設定⇒ 13 ページへ

■ブラケット、カバーの取り付け

各種設定後、取り外した部品を取り付けてください。



1 ブラケットをねじ (4 か所) で固定します。

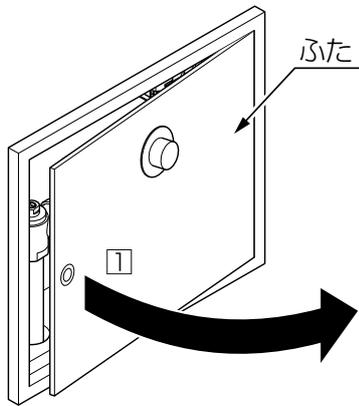
2 電磁弁部コネクタ (赤色) を接続します。

3 カバーをねじ (2 か所) で固定します。

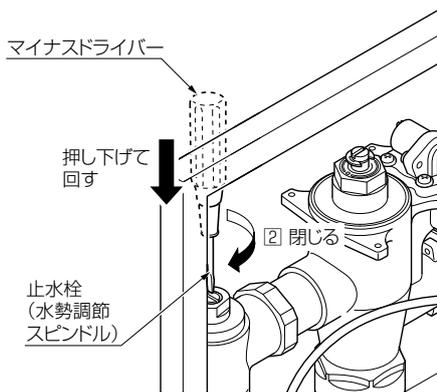
全ての設定が終了しましたら、漏電遮断器を入れて、正常に作動することを確認してください。

設定のしかた

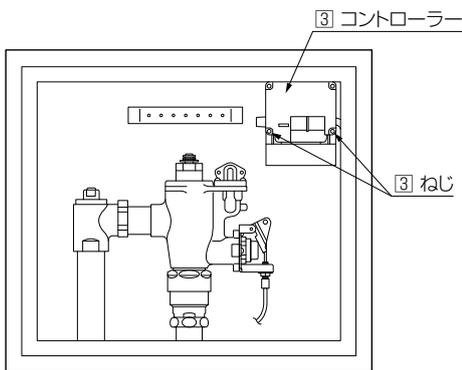
〈埋込形の場合〉



1 鍵（付属）で開錠し、ふたを開けます。



2 マイナスドライバーで、止水栓の水勢調節スピンドルを閉めます。



3 コネクタ（赤色）を外し、ねじを外した後、コントローラーを取り外します。

設定のしかた

②各種設定

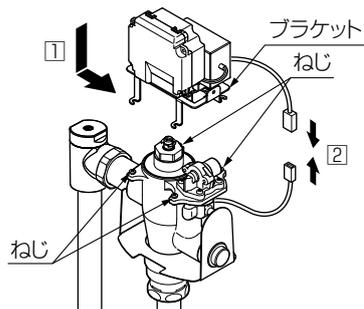
項目により設定方法が異なります。以下のページをご参照ください。

- ・切替スイッチの設定⇒ 12 ページへ
- ・水量調節スピンドルの設定⇒ 15 ページへ
- ・洗浄水量の設定⇒ 13 ページへ

③ブラケット、カバー、コントローラーの取り付け

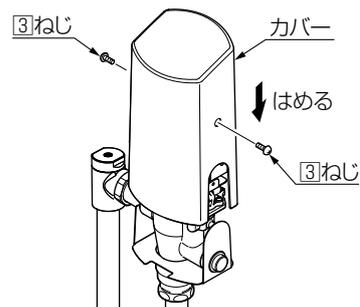
各種設定後、取り外した部品を取り付けてください。

〈露出形の場合〉



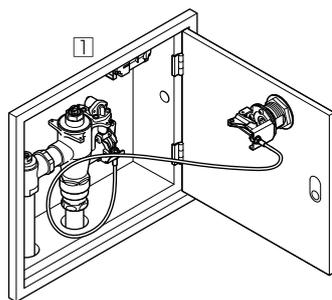
1 ブラケットをねじ（4 か所）で固定します。

2 電磁弁部コネクタ（赤色）を接続します。

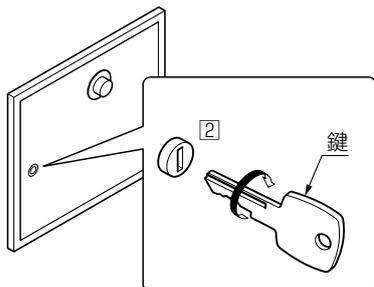


3 カバーをねじ（2 か所）で固定します。

〈埋込形の場合〉



1 コントローラーを取り付け、電磁弁部コネクタ（赤色）を接続します。

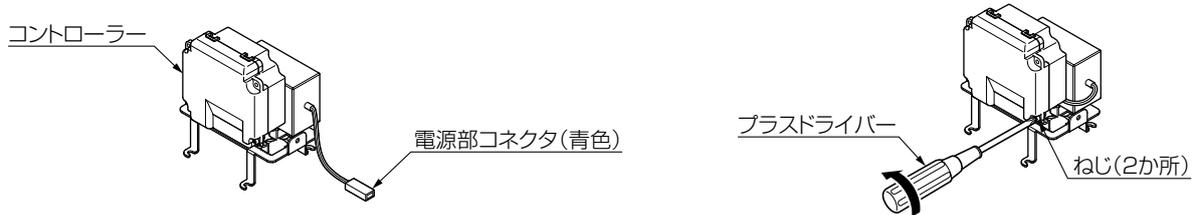


2 ふたを閉め、鍵で施錠します。

全ての設定が終了しましたら、漏電遮断器を入れて、正常に作動することを確認してください。

設定のしかた

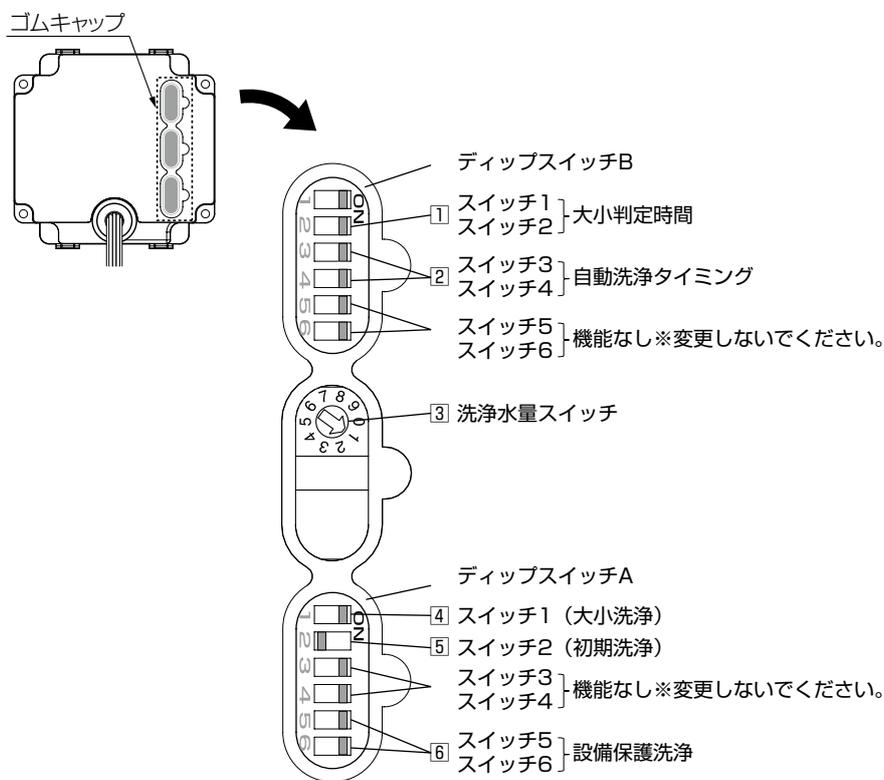
電源部コネクタ（青色）を外し、コントローラーを外した後、以下の設定へ進んでください。



◆ 切替スイッチの設定

コントローラー裏側の切替スイッチで以下の設定が可能です。コントローラー裏側のゴムキャップを取り外して、設定してください。（下図はコントローラー裏側です。）

各スイッチの切り替えは、精密ドライバー（－）を使用してください。



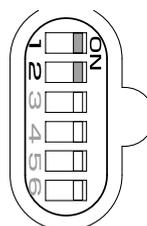
① 大小判定時間（ディップスイッチ B）の設定（人体感知センサーと組合せた時のみ）

大小判定時間は、出荷時「50秒」に設定しています。スイッチを表のように切り替えることで、「120秒」、「150秒」に設定することができます。

※表のスイッチ以外は設定しないでください。故障の原因になります。

大小判定時間	スイッチ番号
50秒	1 2
120秒	1 2
150秒	1 2

※出荷時は「50秒」に設定

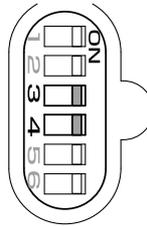


設定のしかた

2 自動洗浄タイミング（ディップスイッチ B）の設定（人体感知センサーと組合せた時のみ）

自動洗浄するタイミングは出荷時「10秒」に設定しています。スイッチを表のように切り替えることで、「1秒」、「180秒」、「自動洗浄なし」に設定することもできます。

自動洗浄 タイミング	スイッチ番号
10秒	3 4
180秒	3 4
自動洗浄なし	3 4
1秒	3 4



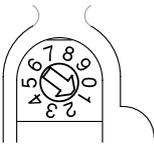
※出荷時は「10秒」に設定

3 洗浄水量の設定

洗浄水量の出荷時設定は製品品番によって異なり、表のように設定しています。取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。（16ページ）
※表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

OKC-AT7型の場合

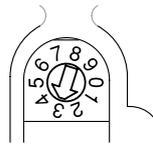
洗浄水量		スイッチ番号	
大	小	標準	低圧用
5L	3.8L	1	—
5.5L	4.8L	2	5
6L	5L	3	6



※出荷時は「5L」（スイッチ番号1）に設定

OKC-AT6、OKC-A6型の場合

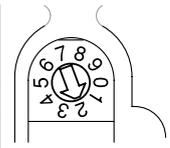
洗浄水量		スイッチ番号
大	小	番号
8L	6L	3
6L	5L	9



※出荷時は「8L」（スイッチ番号3）に設定

OKC-A5型の場合

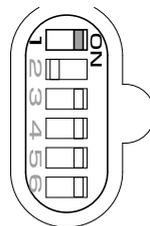
洗浄水量		スイッチ番号
大	小	番号
13L	13L	1
10L	8L	2
8L	6L	3
13L	8L	4
16L	16L	5



※出荷時は「10L」（スイッチ番号2）に設定

4 大小洗浄（ディップスイッチ A）の設定

大小洗浄は、出荷時「大小モード」（ON）に設定しています。スイッチを切り変えることで、「大モード」（OFF）に設定することができます。

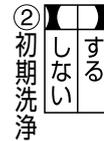


※出荷時は「大小モード」（ON）に設定

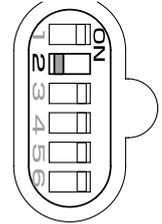
設定のしかた

5 初期洗浄（ディップスイッチ A）の設定

初期洗浄機能は出荷時「しない」（OFF）に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「する」（ON）に設定することができます。



※出荷時は「しない」（OFF）に設定

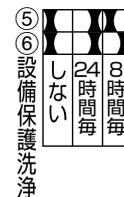


6 設備保護洗浄（ディップスイッチ A）の設定

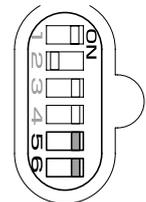
設備保護洗浄機能は、出荷時「24 時間毎」に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「しない」、「8 時間毎」に設定することができます。

※「しない」に設定した場合、長時間大便器を使用しないと、封水切れを起こす恐れがあります。

※表のスイッチ以外は設定しないでください。故障の原因になります。



※出荷時は「24時間毎」に設定



※ディップスイッチ A の 3,4、ディップスイッチ B の 5,6 は「ON」で使用してください。「OFF」にすると故障の原因になります。

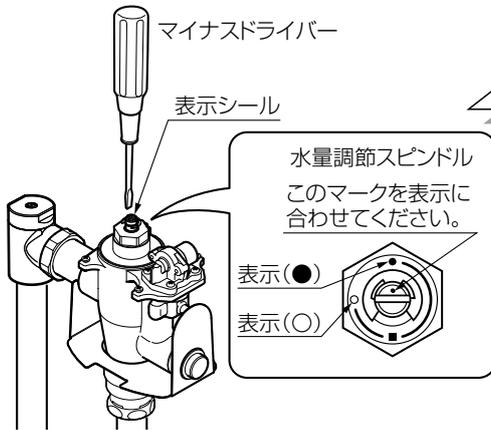
設定後、ゴムキャップを付けてください。

設定のしかた

◆ 水量調節スピンドルの設定

自動フラッシュバルブで設定します。

〈露出形の場合〉



〔参考〕回転方向について

水量調節スピンドルを左(反時計方向)に止まるまで回すと約2L増えます。

水量の調節方法
増える 減る



1 適正水量に水量調節スピンドルを設定します。

マイナスドライバーで水量調節スピンドルを回し、適正水量に設定してください。
適正水量については、「衛生陶器のタイプと設定方法」(16 ページ) をご参照ください。

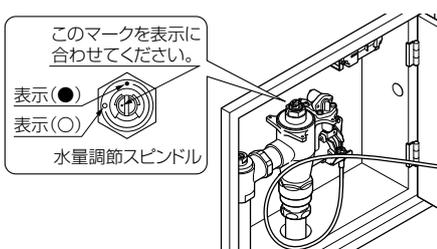
2 設定後、ブラケットを固定し、コネクタを接続します。

(要領は、11 ページをご参照ください。)

3 カバーを固定します。

(要領は、11 ページをご参照ください。)

〈埋込形の場合〉



〔参考〕回転方向について

水量調節スピンドルを左(反時計方向)に止まるまで回すと約2L増えます。

水量の調節方法
増える 減る



1 適正水量に水量調節スピンドルを設定します。

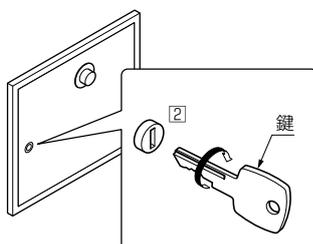
マイナスドライバーで水量調節スピンドルを回し、適正水量に設定してください。
適正水量については、「衛生陶器のタイプと設定方法」(16 ページ) をご参照ください。

2 設定後、コントローラーを固定し、コネクタを接続します。

(要領は、11 ページをご参照ください。)

3 ふたを閉め、鍵で施錠します。

(要領は、11 ページをご参照ください。)



設定のしかた

◆ 洗浄水量の設定

取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。下表の要領に従い、必ず「①洗浄水量スイッチ」と「②水量調節スピンドル」と「③水勢調節スピンドル」にて設定してください。

衛生陶器品番の確認方法

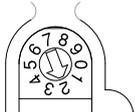
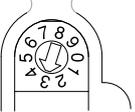
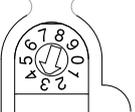
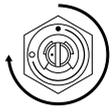
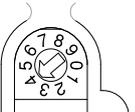
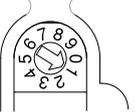


衛生陶器のタイプと設定方法

型種類	衛生陶器品番	水勢調節	洗浄水量		ディップスイッチ A スイッチ 1 (大小洗浄) の設定	①洗浄水量スイッチの設定	②自動フラッシュバルブの水量調節スピンドル位置
			大	小			
OKC-AT7 型 ※ 1	C-P18PA・ C-P25S・ C-P25H	不要 ※ 4	5L	3.8L	 出荷設定より 変更なし	 1 (大5L/小3.8L)	変更なし
	C-P12P		5.5L	4.8L			
OKC-AT6 型 ※ 2	C-P13S・ C-P15SK・ C-P15HK・ C-P16P・ C-P17P	不要 ※ 4	6L	5L	 変更なし	 9 (大6L/小5L)	変更なし
	S-207			—			
	C-P145S・ C-852B・ C-852BM・ C-852M・ C-854B		8L	6L	 変更なし		

設定のしかた

◆ 洗浄水量の設定（つづき）

型種類	衛生陶器 品番	水勢 調節	洗浄水量		ディップスイッチ A スイッチ 1 (大小洗浄) の設定	①洗浄水量スイッチの 設定	②自動フラッシュバルブの 水量調節 スピンドル位置
			大	小			
OKC- A6 型 ※ 3	C-P141S・ C-P143S	必要	6L	5L	 変更なし	 9 (大 6L/小 5L)	変更なし
	C-P13P		8L	6L		 3 (大 8L/小 6L)	
OKC- A5 型	C-5RT・ C-5RTSM	必要	8L	6L	 変更なし	 3 (大 8L/小 6L)	 ○マークの位 置に合わせる。
	C-4R・ C-4RSM・ C-5KRSM・ C-715BM		10L	8L		 OFF へ変更する	
	S-206R		10L	—	 4 (大 13L/小 8L)		
	C-35・ C-35K		13L	8L	 1 (大 13L/小 13L)		
	その他 ※ 5		13L	13L	 OFF へ変更する		

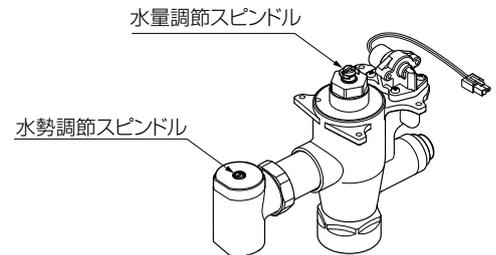
- ※ 1：流動時水圧が 0.1MPa 以上の場合の洗浄水量です。
流動時水圧が 0.07～0.10MPa の場合は、5.5L（洗浄水量スイッチ 5）に変更してください。
- ※ 2：流動時水圧が 0.1MPa 以上の場合の洗浄水量です。
流動時水圧が 0.07～0.10MPa の場合は、洗浄スイッチを 3 にあわせ、水量調節スピンドルを■にあわせてください。
- ※ 3：流動時水圧が 0.1MPa 以上の場合の洗浄水量です。
流動時水圧が 0.07～0.10MPa の場合は、洗浄水量スイッチは 3 のままにしてください。
- ※ 4：衛生陶器に水勢調整シールがある場合は、水勢調整シールのラインを超える場合は水勢の調節が必要です。
- ※ 5：S-203U は流動時水圧を 0.1MPa 以上確保できるように配管設計してください。

設定のしかた

◆ 洗浄水量の設定 (つづき)

③ 水勢調節スピンドルの設定

- 出荷時、流動時水圧が 0.1MPa で約 5L、約 8L または約 10L になるように設定しております。ただし、お使いの水圧条件によっては水勢と水量が変動するため、水勢の調節をしてください。(要領は、6 ページをご参照ください)



① お使いの環境の流動時水圧が分かる場合 (OKC-A6 型、OKC-A5 型の場合)

〈水勢調節スピンドル開度目安〉

※ 流動時水圧とは、手動洗浄ボタンを押しっぱなしにした時の水圧です。

下記の表に従い、水勢調節スピンドルを回します。

現場の流動時水圧 (MPa)	0.75 ~ 0.6	0.5 ~ 0.4	0.3 ~ 0.2
水勢調節スピンドル位置	全閉から 1 周開く × 1 周	全閉から 2 周開く × 2 周	全閉から 3 周開く × 3 周

※ 流動時水圧が 0.1MPa 以下の場合は、水勢調節スピンドルを全開にしてください。

② お使いの環境の流動時水圧が分からない場合

〈鉢内の洗浄目安〉

洗浄を行ったときに水はねがないように調節してください。

⚠ 注意



指示実行

洗浄水量設定は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。
※ 便器の詰まりの原因となります。

- 水勢調節スピンドルの調節を行った際は、下記方法で便器の排水を確認してください。

長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたものを 7 個入れ、1 回の操作で排出できることを確認してください。

お手入れ方法

ここでは、お手入れ・定期点検について説明しています。

本商品を末永くご使用いただくためにも以下のお手入れを実施してください。

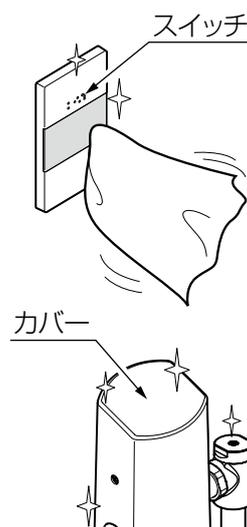
◆ お手入れ

美しさを保つために日頃のお手入れをお願いいたします。

■ カバーとスイッチのお掃除のしかた

お手入れは、次のことに注意してください。

- 軽い汚れの場合
水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取ってください。
- ひどい汚れの場合
適量に薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてください。
- トイレ用洗剤が付着したときは…
トイレ用洗剤が、プラスチック類についてしまったときは柔らかい布で水ぶきしたあと、水滴をふき取ってください。
- 表面を傷める恐れのある、次のものは使用しないでください。
 - ・ 磨き粉などの粒子の粗い洗剤
 - ・ 酸性、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ ナイロンたわし、金属ブラシなど
 - ・ シンナー、ベンジンアルコールなどの溶剤



⚠ 警告



水かけ禁止

本体部や操作部、配線に水や洗剤をかけないでください。
※感電・火災や故障、外観劣化の原因になります。



禁止

トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレゾールは使用しないでください。
※感電・火災の原因になります。



お手入れ方法

◆ 定期点検のおすすめ

十分な機能を発揮させるため、月1回は以下の手順で点検・掃除してください。

- 1 掃除の前に
- 2 ストレーナーの掃除 (OKC-AT7 型、OKC-AT6 型の場合)
- 3 ピストンおよびシート部の掃除
- 4 ダイアフラムおよびシート部の掃除
- 5 掃除が終わったら

警告



指示実行

お手入れ・点検の際は、必ず漏電遮断器を切ってください。
※感電の原因になります。

注意



指示実行

ピストンおよびダイアフラムの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。
※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

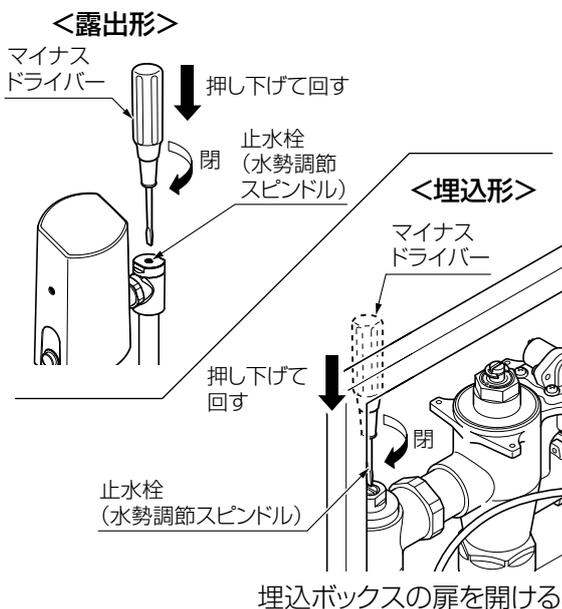
定期的（年2回以上）に配管の周りを見て漏水がないか確認してください。
※部品の劣化・摩耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

ピストンおよびダイアフラムの掃除の際は、製品表面を傷つけないように注意してください。
※製品の機能を損ねる恐れがあります。

1 掃除の前に

掃除の前に、次の準備をしてください。

※この作業の前に必ず漏電遮断器が切っていることを確認してください。



- 1 マイナスドライバーで、止水栓の水勢調節スピンドルを閉めます。
OKC-AT7型、OKC-AT6型の場合は、押し回すと閉まります。(要領は、6ページをご覧ください。)
※OKC-A6型、OKC-A5型の場合は、スピンドルを閉めた回転数をメモしておくと戻すときに便利です。

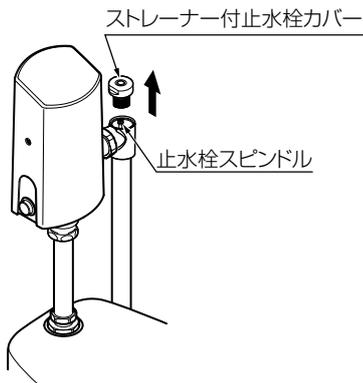
- 2 露出形の場合は、カバーのねじ（2か所）を外して、カバーを取り外します。(要領は、9ページをご参照ください。)
埋込形の場合は、「2. ストレーナーの掃除」または「3. ピストンおよびシート部の掃除」へ進んでください。

お手入れ方法

- 3** 電磁弁部コネクタ (赤色) を外し、ブラケットのねじ (4 か所) をゆるめ、ブラケットを外します。
(要領は、9、10 ページをご参照ください。)

2

ストレーナーの掃除 (OKC-AT7 型、OKC-AT6 型の場合)



- 1** モンキーレンチなどでストレーナー付水栓カバーを外します。
※ 止水栓スピンドルを触らないようにしてください。

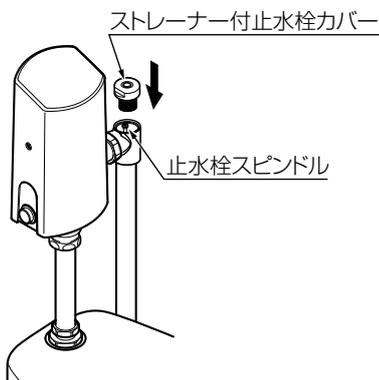
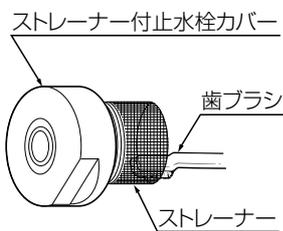
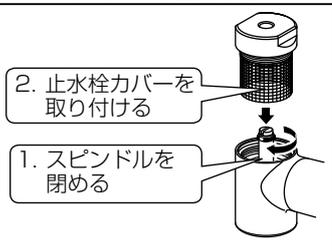
⚠ 注意

- OKC-A5 型、OKC-A6 型 (OKC-T7 型、OKC-AT6 型以外の機種) にはストレーナーはなく、止水栓カバーを取り外すと漏水するため止水栓カバーを外さないでください。
- OKC-T7 型、OKC-AT6 型でストレーナー付止水栓カバーを取り外す際は、必ず製品の止水栓を先に閉めてください。

※ 品番が分からなくなった場合、止水栓が全閉から全開になるまで 15 回転以上回る場合は OKC-T7 型、OKC-AT6 型です。(それ以外の場合は OKC-A5 型、OKC-A6 型ですので止水栓カバーを外さないでください。)

※ 止水栓を閉めずに止水栓カバーを取り外した場合
スピンドルが自立しないため止水栓カバーの取り付けが困難となります。
→ スピンドルを閉めてから止水栓カバーを取り付けてください。

OKC-AT6 型の場合



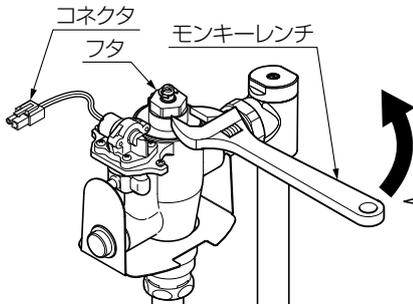
- 2** ストレーナーを掃除します。
ストレーナーに詰まったゴミや汚れを歯ブラシなどの先の柔らかいブラシで取り除いてください。

- 3** ストレーナー付止水栓カバーを取り付けます。

お手入れ方法

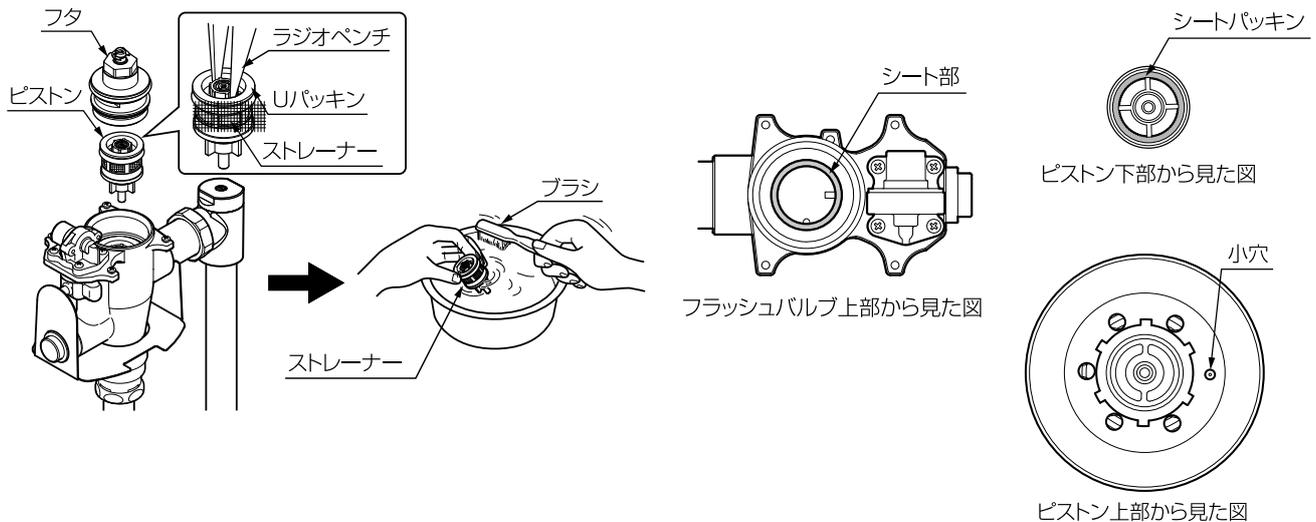
3

ピストンおよびシート部の掃除

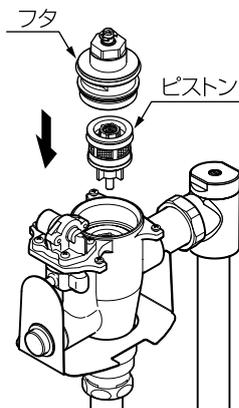


- 1** モンキーレンチなどでフタを外します。
※配線等をかみ込まないように、十分ご注意ください。
コネクタに水がかからないよう、十分ご注意ください。

- 2** ピストンをラジオペンチなどで取り出し、ストレーナーおよびシート部を掃除します。
ストレーナーや小穴に詰まったゴミや汚れを歯ブラシなどの先の柔らかいブラシで取り除いてください。またシートパッキンおよびシート部のゴミや汚れも取り除いてください。Uパッキンにキズやいたみがないか確認してください。



- 3** ピストンを元の位置に差し込み、フタを閉めます。

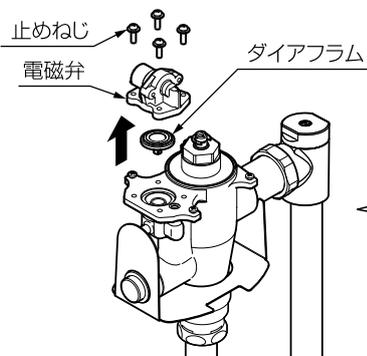


フタの内側が著しく汚れている場合、機能を損ねる恐れがありますので、部品の交換をお勧めします。

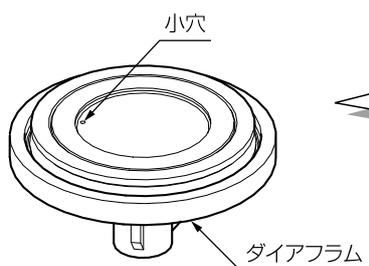
お手入れ方法

4

ダイヤフラムおよびシート部の掃除

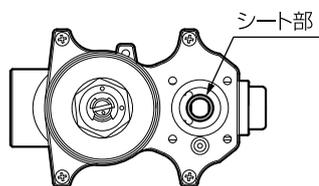


1 プラスドライバーで、電磁弁の止めねじ 4 本を外して、電磁弁とダイヤフラムを取り外します。

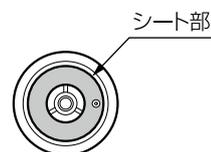


2 ダイヤフラムの小穴に詰まったゴミを、息をふきかけるなどして、取り除きます。

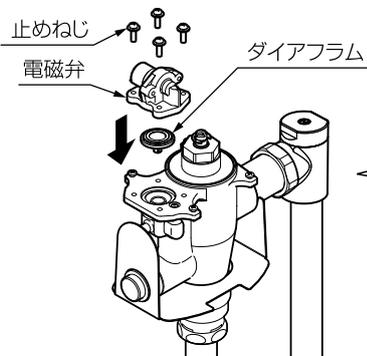
また、シート面およびシート部のゴミや汚れも取り除いてください。



フラッシュバルブ上部から見た図

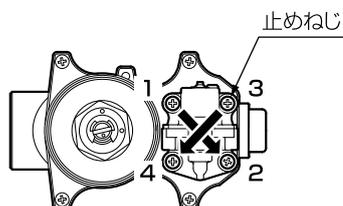


ダイヤフラム下部から見た図



3 ダイヤフラムと電磁弁を元の位置にはめ、止めねじ 4 本で固定します。

止めねじを締める際は均等に締まるよう、締めたところから遠い順に締めます。



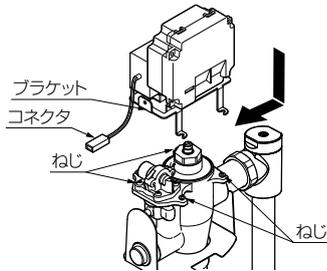
締めた所から遠い順に締める

お手入れ方法

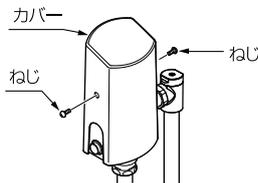
5

掃除が終わったら

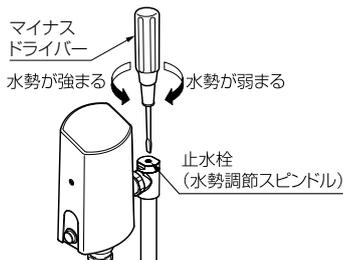
〈露出形の場合〉



1 ブラケットをねじ（4 か所）で固定し、コネクタを接続します。

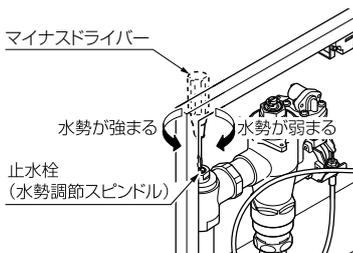


2 カバーをねじ（2 か所）で固定します。

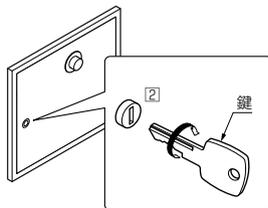


3 止水栓の水勢調節スピンドルを回して、適切な水勢に設定します。
(要領は、6 ページを参照ください。)
※ 閉じる時に回転数をメモしていた場合は、メモした元の位置まで開けてください。

〈埋込形の場合〉



1 止水栓の水勢調節スピンドルを回して、適切な水勢に設定します。
(要領は、6 ページを参照ください。)
※ 閉じる時に回転数をメモしていた場合は、メモした元の位置まで開けてください。



2 ふたを閉め、鍵で施錠します。

水勢の設定が終わりましたら、漏電遮断器を入れて正常に作動することを確認してください。また、フラッシュバルブ本体からの漏水がないか確認してください。

修理を依頼される前に

◆ 故障かなと思ったら

次のような場合は、故障ではありません。簡単に直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。確認しても直らない場合は、止水栓を閉じ、漏電遮断器を切ってお求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

保障期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

⚠ 警告



修理技術者以外の方は、保守・点検の決められた項目以外は、絶対に分解・修理・改造を行わないでください。

※故障・感電・ケガの原因になります。

現象		確認	処置
水が流れない	手動洗浄ボタンで流れる	センサー窓の表面が汚れていませんか。	汚れをふきとってください。(19 ページ)
		センサーの前に障害物がありませんか。	障害物を取り除きます。
		電源線は差込形コネクタに差し込まれていますか。	電源線を差込形コネクタに確実に差し込み直します。(6 ページ)
		コネクタは確実に差し込まれていますか。	コネクタを差し込みます。(6 ページ)
		自動洗浄タイミングが自動洗浄なし、または長くなっていませんか。 (人体感知センサーと組合せた時のみ)	「自動洗浄タイミングの設定」の内容に従って設定してください。(13 ページ)
		洗浄後 10 秒以内に手をかざしていませんか。	10 秒待ち、手をかざしてください。(7 ページ)
	停電中ではありませんか。	停電復帰を待ってください。	
手動洗浄ボタンで流れない	止水栓は開いていますか。	止水栓を開けてください。(6 ページ)	
	断水中ではありませんか。	断水が終るまでお待ちください。	
水が止まらない	ピストンまたはダイヤフラムと自動フラッシュバルブ本体のシート部にゴミがかんできていませんか。	シート部を掃除してください。(22、23 ページ)	
洗浄水量が少ない または水勢が少ない	止水栓は適量の水勢になるように開いていますか。	止水栓を開いて調節します。(6 ページ)	
	洗浄水量設定は正しく行われていますか。	洗浄水量を設定します。(16 ページ)	
洗浄水量が多い	ピストンのストレーナーにゴミなどが詰まっていますか。	ピストンのストレーナーを掃除してください。(22 ページ)	
	洗浄水量設定は正しく行われていますか。	洗浄水量を設定します。(16 ページ)	
大小洗浄しない	洗浄モードが「大」になっていませんか。	大小洗浄の設定の内容に従って設定してください。(13 ページ) (シャワートイレ自動洗浄形は、シャワートイレの施工説明書を参照)	
水が勝手に流れる	「設備保護洗浄」、「自動洗浄」、「初期洗浄」ではありませんか。	「ご使用方法」の内容を確認してください。(7 ページ)	

アフターサービスについて

1. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「故障かなと思ったら」(25 ページ)を参照してください。
それでも直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- 取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- 配線の傷み
- 配線の過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

警告



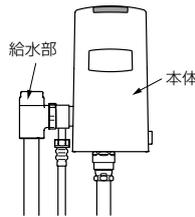
指示実行

- 本体が故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、修理を依頼してください。
※感電・火災の原因になります。

- 本体および給水部から漏水した場合、漏電遮断器を切り、止水栓を閉めてください。

※感電・火災の原因になります。

※漏水して室内浸水し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。



分解禁止

- 修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災・ケガの原因になります。

2. 保証書をご覧ください（この説明書の裏表紙が保証書になっています）

この商品は保証書がついています。保証書は、お求めの取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取り付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼される時

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品番・製造番号
(品番シールをご覧ください。)
3. ご購入日（保証書をご覧ください）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

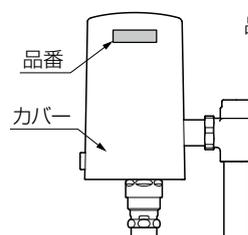
■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

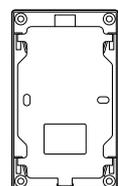
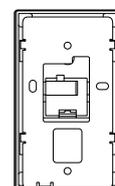
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

自動フラッシュバルブ背面

操作部



品番シールは操作部の背面に貼ってあります。



アフターサービスについて

4. 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

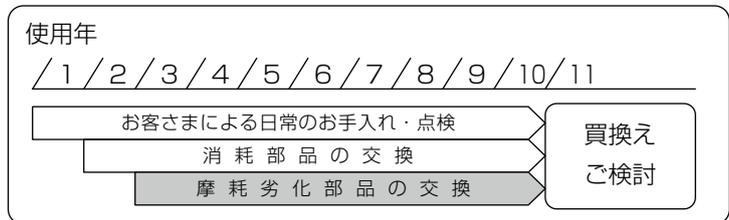
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- **負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安、取り付けの日から 6 年後です。**
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。
- **部品が摩耗・劣化すると漏水などの原因になりますので交換が必要です。点検の目安は、取り付けの日から 3 年後です。**
- **摩耗・劣化する部品の例**
例) 止水栓、ピストン、ダイヤフラムなど
- **温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用される場合**

〈定期的な点検・部品交換の目安〉



定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土・日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL :0562-40-4050

FAX:0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

受付時間9:00~20:00 (365日受付)

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

仕様

■ 操作部

タイプ	無線タイプ		有線タイプ	
	センサースイッチ	タッチスイッチ	センサースイッチ	タッチスイッチ
品番	OKC-8SM	OKC-8BML	OKC-8SY	OKC-8BY
外径寸法	幅70mm×奥行20mm×高さ120mm		幅70mm×奥行10.5mm×高さ120mm	
電源	単三アルカリ乾電池：2本	発電式 (電源・電池不要)	AC100V 50/60Hz (自動フラッシュバルブ側に接続)	
電池寿命	月2,000回使用で約5年 (月4,000回使用で約4年)	—	—	
定格消費電力	常時：3W以下 バルブ作動時：5W以下	常時：2W以下 バルブ作動時：4W以下	常時：3W以下 バルブ作動時：5W以下	常時：2W以下 バルブ作動時：4W以下
信号線長さ	—		5m	
手かざし感知距離	60mm固定 (グレー紙80mm角の場合)	—	60mm固定 (グレー紙80mm角の場合)	—
手かざし感知時間	1秒、2秒に設定可能 (出荷時1秒)	—	1秒、2秒に設定可能 (出荷時1秒)	—

■ 自動フラッシュバルブ

品名	オートフラッシュC セパレート形							
	露出形				埋込形			
品番	OKC-AT7型	OKC-AT6型	OKC-A6型	OKC-A5型	OKC-AT78型	OKC-AT68型	OKC-A68型	OKC-A58型
カバー寸法	130(幅) × 110(奥行) × 219(高さ) mm				448(幅) × 20(奥行) × 398(高さ) mm			
埋込部	—				410(幅) × 120(奥行) × 358(高さ) mm			
洗浄水量 調節範囲	大	5~6L 調節可能 (出荷時 5L)	6~8L 調節可能 (出荷時 8L)	10~16L 調節可能 (出荷時 10L)	5~6L 調節可能 (出荷時 5L)	6~8L 調節可能 (出荷時 8L)	10~16L 調節可能 (出荷時 10L)	
	小	3.8~5L 調節可能 (出荷時 3.8L)	5~6L 調節可能 (出荷時 6L)	8L 調節可能 (出荷時 8L)	3.8~5L 調節可能 (出荷時 3.8L)	5~6L 調節可能 (出荷時 6L)	8L 調節可能 (出荷時 8L)	
給水 圧力	最低 必要水圧	0.07MPa (流動時) 以上 ※C-35、C-35Kの場合は、0.08MPa以上 ※S-203U、S-206Rの場合は、0.1MPa以上						
	最高水圧	0.75MPa (静水時)						
電源	AC100V, 50/60Hz							
大小洗浄判定時間	50秒/120秒/150秒 (出荷時50秒)							
自動洗浄開始時間	人体感知が切れてから (1秒/10秒/180秒、自動洗浄なし) (出荷時10秒) (人体感知センサーと組合せた時のみ)							
電磁弁駆動電圧	DC6V							
各種機能	初期洗浄	入/切 切替可能 (出荷時 切)						
	大小洗浄	大小/大 切替可能 (出荷時 大小) (人体感知センサーと組合せた時のみ)						
二重洗浄防止	1度洗浄を行うと、10秒経過しないと、次の洗浄を行わない							
設備保護洗浄	8時間毎/24時間毎/設備保護洗浄なし (出荷時24時間毎)							
給水口径	25A (ねじサイズR1)							
止水栓ストレーナー	あり	なし			あり	なし		
使用温度範囲	0~40℃ (ただし凍結の恐れのある場所では使えません)							
使用水	上水 (ただし品番に「-C」がある場合は中水 ※1)							

※ 1：中水は使用できる水質範囲があります。詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。
ホームページアドレス：https://iinavi.inax.lixil.co.jp/products/faucets/flush_cs/

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：オートフラッシュCセパレート形 (品番：OKC-)			
保証期間	取付日より2ケ年	取付日	年 月 日
お客さま	おなまえ	取扱店名	TEL () -
	おところ		
	おでんわ () -		

無効

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定 (保証規定)

- [取扱説明書]・[ラベル]などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
 - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極めて高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
 - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
 - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
 - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
 - 経年変化使用に伴う外観上の現象(塗装の色あせ、もらい等)または使用に伴う消耗部品の磨耗等により生じる不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
 - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
 - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
 - 戦争・暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
 - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
 - 消耗品(パッキン、ヒューズ、電池等)類の消耗に起因する故障および損傷などの不具合
 - 温泉水、井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
 - 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - 給水・給湯配管の、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
 - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
 - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
 - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ケ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ

TEX ☎ 0120-179-400
FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00~18:00
土日・祝日 9:00~17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050
FAX 0562-40-4053

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターへ

TEX ☎ 0120-179-411
FAX ☎ 0120-179-456

受付時間 9:00~20:00 (365日受付)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>